

● 事例紹介 ●

すべての人々に開かれた大学 放送大学

平松 昌弥

(放送大学学園広報課長)

● はじめに (概要)

放送大学は、広く国民に開かれた大学教育を行うことを目指して、テレビ・ラジオの放送を利用した教養学部の大
学として昭和五八年に設置され、昭和六〇年から学生の受
け入れを開始して以来、今年で二四年目を迎えます。現在、
全国で約九万人が学んでおり、これまでに五万人を超える
卒業生を送り出すとともに、開学からのべ一〇〇万人を超
える方が学んでいます。

平成一〇年一月から「スカイパーフェクトTV!」のCS
デジタル放送により、それまで主として関東エリアに限られて

いた放送対象地域を全国に拡大したことにより全国津々浦々
で放送大学の授業が視聴できるようになり、また平成一〇年
九月までに全都道府県に学習センターを設置し、全国化を实
現しました。さらに、学習センターのブランチ機能を有するサ
テライトスペースや、地方公共団体の協力による再視聴施設
の増設とともに、CATVにおいても同時再送信を拡大する
など、より一層身近な大学となっています。

平成一三年度には、大学院文化科学研究科(修士課程)
を設置し、平成一四年度から、総合文化、政策経営、教育
開発、臨床心理の四つのプログラムで学生受け入れを開始
し、これまでに二〇〇〇名の修了生を送り出しています。

①入学資格は学ぶ意欲
 一五歳以上の方ならどなたでも無試験で入学(卒業を目指す方は一八歳以上で大学入学資格が必要)でき、一科目からでも学べます。既存の学問分野にとられない三コ

●放送大学の特徴

このように、放送大学は、広く社会人等を対象として、幅広い分野の授業科目を開設し、高等教育レベルの学習機会を提供しており、いつでも、どこでも、誰でもが学べる、すべての国民に開かれた生涯学習の中核的機関としての役割を担っています。

また、学生の広範で多様な学習ニーズに適切に対応することができるよう、今後一層進んでいく情報通信環境に対応して、学生の利便性と学習効果を一層高める観点から、多様なメディアの活用についても積極的に取り組んでまいります。

平成一八年一二月からは、関東エリアで地上デジタル放送を開始しています。今後、ハイビジョン放送やマルチチャンネル放送、データ放送等、地上デジタル放送の特長を活かした番組を放送していきます。

平成19年度第2学期

[教養学部]		(単位:人)
学生の種別等	在學生	
全科履修生	53,055	
選科履修生	18,101	26,017
科目履修生	7,916	
特別聴講学生	4,054	
合計	83,126	

[大学院]		(単位:人)
学生の種別等	在學生	
修士全科生	1,325	
修士選科生	4,029	
修士科目生	941	
特別聴講学生	1	
合計	6,296	

注)特別聴講学生とは、他の大学等の学生で当該大学等と放送大学との協定に基づき、本学において科目の履修を行っている学生です。

図1 在學生数

[スカパーフェクTV!] (CS放送)		地上放送 (東京放送局)	地上放送 (前橋放送局)
テレビ	205 ch.	アナログ UHF 16 ch. デジタル リモコン番号 12 (UHF 28ch.)	アナログ UHF 40 ch. デジタル リモコン番号 12 (UHF 28ch.)
ラジオ	500 ch.	ラジオ FM77.1MHz	ラジオ FM78.8 MHz

図2 視聴の種類

学部	コース	専攻	教育の目標
教養学部	生活科学	生活と福祉	知性豊かな生活を築くために、衣食住・健康・福祉などの生活にかかわる諸問題への理解を深めること。
		発達と教育	育児や青少年の教育・指導のための基本的な知識を習得するとともに、人間における教育の役割を理解すること。
	産業・社会	社会と経済	政治・経済・社会のしくみと動きに関する基本的な問題を理解すること。
		産業と技術	産業・技術の発展の動向や経営管理のあり方について一般的な知識を得ること。
	人文・自然	人間の探求	現代文明と地域文化の特質とその発展の歴史を探るとともに、人間の思想・文学・芸術などについて理解を深めること。
		自然の理解	自然の本質について種々の視点から学び、認識を深め、また自然と人間生活との深いかわり合いを理解すること。

図4 学部、コース、専攻

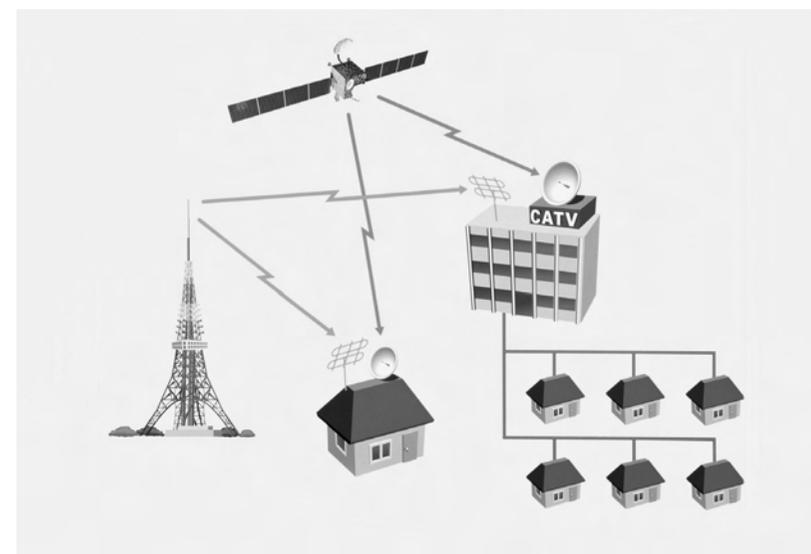


図3 受信のシステム

ス・六専攻を設けており、実生活に即した専門的学習を深められるよう、幅広い多彩な一般教養三〇〇科目を用意しています。

大学卒業資格を得るために学ぶことはもちろん、キャリアアップや知識を深めるために必要とする科目だけを学ぶこともでき、入学のチャンスは年二回（四月と一〇月）。より高度な専門性を身につけたい場合には大学院も併設しています。

また、国公私立大学の一流講師陣約一〇〇〇人が学生の学びをサポートします。

②自宅マイベイスに学べ、全国五七のキャンパスがサポート
テレビやラジオ等で放送される授業を視聴しながら自宅でマイベイスに学習できるほか、身近な学習センター等で再視聴できます。学習センター等は全国に五七ヶ所あり、再視聴のほか、面接授業や単位認定試験を行っています。また、学習以外にも、サークル活動を楽しんだり、学友との語らいを楽しんだりすることもできます。

また、全科履修生は日本学生支援機構の奨学金貸与、選科履修生は北野生涯教育振興会の給付を受けることができ、全科履修生は交通機関等の学生割引制度を活用できますし、全科履修生は交通機関等の学生割引制度を活用

きるなど、キャンパスライフのサポートも可能です。

③学びの道しるべ「エキスパート」

一定の分野や興味・関心のある分野を体系的に学ぶエキスパート（科目群履修認定制度）は、地域活動や様々な社会貢献を目指す方を応援します。

プランごとに設けられた授業科目群から所定の二〇単位を修得された方に認証状を発行するという本学独自のシステムで、平成一八年度から実施し、これまでに一三〇〇名が認証状を取得しています。現在、二二プランを用意していますが、この度の学校教育法の改正により、その根拠が学校教育法に基づくものとなり、今後多くの方々の取得が期待されています。

④授業料の負担が少ない

授業料は、一科目（二単位）あたり一一〇〇〇円で、全科履修生の場合、入学料は二二〇〇〇円、卒業に必要な二四単位を修得するためには約七〇万円程度（国立大学の1/3）と、とてもリーズナブルな料金設定です。

ちなみに、大学院授業料は、一単位あたり一一〇〇〇円です。

⑤資格の取得

卒業すれば「学士（教養）」の学位が取得できますが、大学評価・学位授与機構の行う審査によって学位を取得する途も開かれています。

所定の単位を修得することにより、国家試験の一部免除、受験資格を取得できるものもあります。

本学では教職課程はありませんが、上位・他教科等の教員免許取得に必要な単位の一部を修得できます。

社会教育主事、博物館の学芸員・図書館司書の資格を取得するた

(平成20年度1学期現在)

区分	入学科	授業料
全科履修生 <small>(卒業を目指す・継続して好きな科目を履修/最長10年在学可)</small>	22,000円	1科目(2単位) 11,000円 (テキスト費込み)
選科履修生 <small>(好きな科目を履修/1年間在学)</small>	8,000円	
科目履修生 <small>(好きな科目を履修/半年間在学)</small>	6,000円	
集中科目履修生 <small>(資格取得を目指す)</small>	4,000円	

図5 入学科、授業料

めに必要な科目の一部を修得することもできます。

また、集中科目履修生として、学校図書館司書教諭講習を実施するとともに、准看護師から看護師への移行教育に際し、通信制の看護師学校・養成所を利用して看護師国家試験の受験資格を目指す方々への科目を開設しています。

●生涯学習としての放送大学

放送大学では、一〇〇九〇才代までの様々な方が学生として学んでいます。学部学生の属性としては、性別は男性四割、女性六割、年齢は三〇才代が最も多く、四〇才代、五〇才代、二〇才代の順で、六〇才代も一三・四％です。学歴は高等学校等が四割、短期大学・専門学校等が三割、大学・大学院が三割。職業も様々で、上位・他教科免許を目指す教員の方、看護師資格を目指す方、キャリアアップを目指す会社員、アルバイトしながら学士取得を目指す方、個人経営しながら学ぶ方、早期退職して再チャレンジを目指す方、夫婦で一緒に学ぶ方、学友を求めて学生になった主婦の方、身体的にハンディがありながら頑張る学ぶ方々など多種多様です。

(表1…学部在学生の属性)

学部（教養学部）
旧専攻（20年度まで）

6 専 攻	生活と福祉
	発達と教育
	社会と経済
	産業と技術
	人間の探究
	自然の理解



新コース（21年度以降）

5 コ ー ス	生活と福祉
	心理と教育
	社会と産業
	人間と文化
	自然と環境

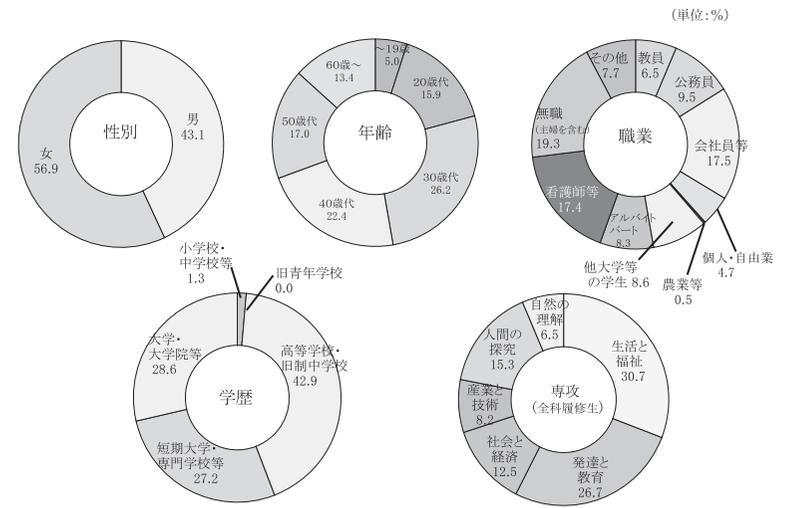


表1 学部在学生の属性（平成19年度第2学期）
〔教養学部（特別聴講学生を含む）〕

大学院（文化科学研究科）
旧プログラム（20年度まで）

4 プ ロ グ ラ ム	総合文化
	文化情報科学群
	環境システム科学群
	政策経営
	教育開発
	臨床心理



新プログラム（21年度以降）

6 プ ロ グ ラ ム	生活健康科学
	人間発達科学
	臨床心理学
	社会経営科学
	文化情報学
	自然環境科学

図6 学科再編の概要

●新たな展開

①単位互換
放送大学では、約三〇〇校の大学等と単位互換協定を締結していますが、これまでの枠組みにとられない新たなシステムによる単位互換の実践や、弾力的な運用を実施するとともに、その効果や課題を検証し、一層の単位互換を推進していきます。

②インターネット配信
一九年度から、ラジオ科目の一部をインターネット配信しており、ラジオ科目については、今後、インターネット配信を進めて、より自宅で学びやすい環境を整備していきます。

③教員免許更新制度への対応
二二年度から教員免許更新制が導入されることに伴い、

以上のように、放送大学は我が国の生涯学習の中核的機関の役割を果たしている、生涯学習というニーズにあった大学です。

本学においても教員免許更新講習を二年度より開設します。通常科目の履修とは異なるシステムを取り入れ、放送を実施しつつも、利便性と学習効果の向上を図るためインターネットを積極的に活用すべく準備中です。

④学科再編

これまでに様々な改革を行ってきましたが、その一環として平成二一年度より学部の専攻及び大学院のプログラムを再編成します。学部については六専攻を五コースへ、大学院については四プログラムを六プログラムへ再編します。また、面接授業の授業時間数・総コマ数を見直し、授業日程や開設形態の弾力化を図ります。

●今後の課題

①国際化に向けた具体的な取り組み

今後、放送大学が世界の公開大学と国際交流協定を締結し、他大学と共に教育研究活動を行うことが不可欠です。そのためイギリスをはじめ欧米諸国、また東アジアの国々・地域の先進的機関と共同で研究を進め、比較調査及び人的交流等を実施するよう取り組んでまいります。

②BS放送

放送大学では、更に国民に開かれた大学を目指して、BS放送を活用した教育ができるよう検討しているところです。このため、今年度、BS放送の調査設計費が新たに認められました。今後は、文部科学省が実施している「放送大学における放送メディアの在り方に関する有識者会議」の結果等を踏まえ、必要な作業を進めていきます。

③今後のICT活用及びeラーニング実施

近年の技術革新に伴い、今日の大学においては、ICTを活用した学習機会の拡大、学習支援や情報提供の充実が不可欠のサービスとなっています。生涯学習・遠隔高等教育・教養教育の中核的機関として、テレビ・ラジオの放送メディアを活用して大学教育を行う本学においても、今後は、ICT活用に積極的に取り組み、国民の広範で多様な学習ニーズにきめ細かに対応することが求められています。

●最後に

放送大学は、昨年度、英語の名称を「The Open University of Japan」と改名し、学ぶ意欲のある方々にま

く自由に門戸を開いています。

大学卒業資格がほしい。やりたいコトを見つけない。夢を実現したい。キャリアアップしたい。資格を取得したい。知識を深めたい。もう一度、仕事をしたい。知的刺激が欲しい。自分を磨きたい。趣味を深めたい。きちんと学び直したい。仲間を見つけない。など。

本格化する高齢社会の到来とともに、改めて生涯学習の重要性が社会的に認識されつつあります。放送大学は、これからすべての人々の広範で多様な学習ニーズに応えることができる開かれた大学であり続けたいと思うし、あり続けるために今後も教職員一丸となって努力していききたいと考えます。

【お知らせ】

放送大学では、二〇年度第二学期（一〇月）入学の学生募集中です。

募集期間：六月一五日～八月三一日

お問合せ先：〇四三―二七六一五一―

www.u-air.ac.jp

詳しい情報を知りたい方に無料で資料をお送りします。